

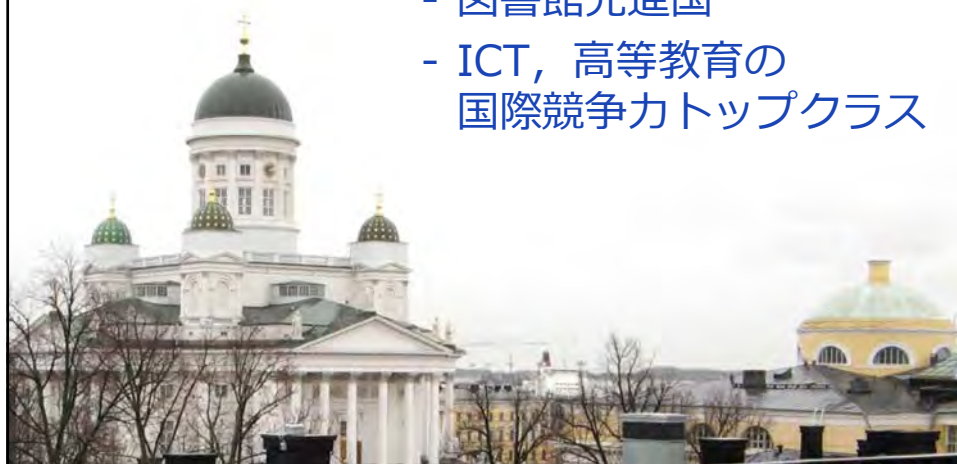
平成25年度 国立大学図書館協会海外派遣事業 報告
フィンランドの大学図書館における学習支援

大学図書館をつなぐ 情報リテラシー教育

室蘭工業大学
図書・学術情報事務室
学術情報ユニット
千葉 浩之

フィンランド

- 教育先進国
- 図書館先進国
- ICT, 高等教育の
国際競争カトップクラス



“会えないひと”に会う

Ms. Kaisa Sinikara
Helsinki University
Library 前館長



フィンランドの高等教育

- **14**大学 + **24**応用科学大学 = **38**機関
- 大学に入学できるのは志望者の**3**割
- 教養教育が**ない**
- 学費**無料**

情報リテラシー教育で

1. 大学内とつながる
2. 大学外とつながる
3. 日本では？

大学内での教育機会

- 授業の1コマで
- テーマ別の講習会で
ただし“業者を講師として招くことはしない”
— Helsinki University Library
- 自ら開講する授業で

担当職員 = Information Specialist

Toolbox of Research

- University of Oulu の研究者支援Wiki
- 図書館が研究支援部署や学部を巻き込む

TOOLBOX OF RESEARCH

1. SUPPORT FOR RESEARCH

- 1.1 Finding scientific information
 - 1.1.1 Preparation for an information search
 - 1.1.1.1 The initial search and tools for structure analysis
 - 1.1.1.2 Finding search terms
 - 1.1.1.3 Choosing sources for an information search
 - 1.1.2 Performing an information search
 - 1.1.3 Evaluation of search results and the availability of material
 - 1.1.4 Current awareness

Data Management 教育

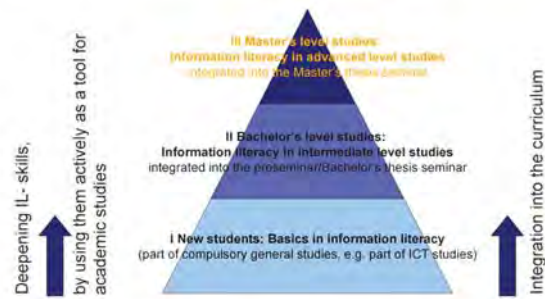
“重要であるにも関わらず
どの部署も教えていないので
図書館が教えることにした”

— Helsinki University Library



Information Literacy Network

Recommendation for universities for including information literacy competency in the new degree structures



© 10 2004 Anne Lehto

- 2004年
大学への提言
= 要望であり
ガイドライン
共通認識
- 現在も機能

2013年 提言を改訂

- 大学教育にもっと情報リテラシー教育を
- 博士課程の学生にも
- 大学だけでなく**社会とのつながり**
情報リテラシーは職業生活でも重要
あらゆる教育的組織の協力が必要

次の一手？

“教材を共有する仕組みを作りたい”

— Ms. Leena Järveläinen
Information Literacy
Network 取りまとめ役

日本では？

- “高等教育のためのリテラシー基準”
策定中
- さらに“**教材を共有する仕組み**”
(教材データベース) を構築できれば
現場レベルで活性化するのは？

教材を共有する仕組み

フィンランド：38機関（14大学）

日本：782大学（86国立大学）

アイデアの共有と競争意識

高等教育改革に乗る

フィンランド

- 2004年提言 ←大学改革 ←ボローニャ宣言
- 2013年提言改訂 ←EMPATIC勧告

例) 平成27年度～ 道内国立大学教養教育連携

- 授業指定図書の整備？
- 遠隔地間で協働学習できる環境の整備？
- 情報リテラシー教育の面でも何か連携？

情報リテラシー教育

**図書館がつながることで
教育・研究とつながる**

Kiitos!

ご清聴ありがとうございました